HITACHI
Inspire the Next

日立クッキングヒーター
設置工事説明書
HTW-4DFSF（シルバータイプ）

（システムキッチン用ビルトインタイプ）

工事される方へのお願い

この設置工事説明書は天ぷら鍋、計量カップ、取扱説明書、保証書とともに必ずお客様にお渡しください。

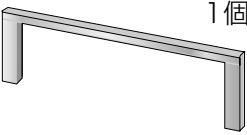
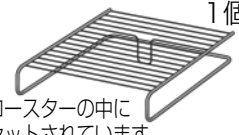
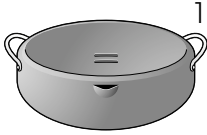
安全のため必ずお守りください

設置をする前に、この設置工事説明書をよくお読みになり、正しく工事をしてください。
ここに示した注意事項は、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容ですので、必ずお守りください。表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

この記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な注意内容が描かれています。

この記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

この記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な指示内容が描かれています。

⚠警告

設置工事は、この「設置工事説明書」に従って、確実に行う（ブレーカーは「切」にして行ってください）
設置に不備があると、漏電・火災の原因

200V－30A以上の専用回路と漏電しゃ断器を設置する
この工事をしないと、配線部が異常発熱する恐れがあり、感電・火災の原因となります。

絶対に分解・修理・改造は行わない
発火・異常動作してけがをする恐れ

電気配線工事は、電気設備技術基準等関連する法令・規則等に従って必ず「法的有資格者」が行う
接続・固定が不完全な場合は、漏電・火災の原因

アース工事は、電気設備技術基準等関連する法令・規則等に従って必ず「法的有資格者」によるD種接地工事を行う
アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないこと
漏電時に感電の恐れ

⚠注意

トッププレートに衝撃を加えない
万一ひびが入ったり割れると、過熱・異常動作・感電の原因

試運転中は、トッププレートやロースタードアなどの高温部に触れない
やけどの恐れ

カウンタートップの材料は、耐熱材料のものを使う
熱硬化樹脂化粧板（JIS K 6903）またはこれと同等以上のもの
耐熱性の低い材料を使用すると、変形・火災の原因になります。
※ニス引きのものは変色するため、使わないでください。

設置工事をされる方へのお願い

●この商品は、適切な電気工事と設置がされていませんと性能が十分発揮できないばかりか、過熱などの危険が生じる場合がありますので、この設置工事説明書をよくお読みのうえ、適切な工事をお願い致します。
必ず、システムキッチンなどに組込んでください。
●電気工事は、必ず「電気工事士」の免許をお持ちの方が行ってください。
●工事完了後は、必ず「工事完了後の確認」を行い、お客様へご説明ください。
●付属品の確認をしてください。

上ルーバー	吸・排気カバー	焼　　網	天ぷら鍋	計量カップ
1個	2個	1個 ロースターの中にセットされています。	1個	1個

※取扱説明書、保証書があることを確認してください。

⚠お願い

設置するときは、火災予防条例に基づき、必ず可燃物との離隔距離を守る
離隔距離が近いと火災の原因

電源電線およびアース線は、プラグを外して直結しない
漏電やショートによる感電・発火の原因

プラグの刃および刃の取付面に、ほこりが付着していないことを確認し、ガタのないよう根元まで確実に差し込む
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合、感電や火災の原因

各部のなまえ

本　体

中央ヒーター(1.2kW)
(クイックラジエントヒーター)
※ロースターとの同時使用はできません。

左ヒーター(3.0kW)
(IH ヒーター)

右ヒーター(3.0kW)
(IH ヒーター)

表示窓

トッププレート

吸・排気カバー
中に吸気口と排気口があります。

送信部
レンジフードへ赤外線信号を送信します。

凸マーク(4ヶ所)
目の不自由な方が、鍋をヒーターの中央に置くための目安です。

プレートワク

上ルーバー

ロースタードア

とって

電源コード

プラグ

受皿

焼網(消耗部品)

上面操作部

前面表示部

パネル操作部

ロースター(1.2kW)
(上・下ともシーズヒーター)
庫内の上部に触媒用ヒーター(300W)があります。
※中央ヒーターとの同時使用はできません。

使用するときは扉の中央部(マーク部)を押して開きます

押す

パネル操作部開放時

※収納するときも扉の中央部(マーク部)を押してください。

●上面操作部 右ヒーターで説明しています

切/入　とろ火　弱火　中火　強火

タイマーキー

右ヒーター切/入キー

火力キー

設定キー
• 火力調節
• タイマー時間設定
• 炊飯、湯わかしの仕上がり調節

●前面表示部

左ヒーター通電ランプ

中央ヒーター通電ランプ

右ヒーター通電ランプ

ロースター通電ランプ

電源ランプ

電源スイッチ
(電源の入/切)

脱臭ランプ

中央ヒーターロックランプ

チャイルドロックランプ

●パネル操作部
使用するときは扉を押して開きます

ロースター・中央ヒータータイマー操作部
• 中央ヒーター調理タイマー
• 魚焼き調理タイマー
• グルメ調理タイマー

ロースター操作部

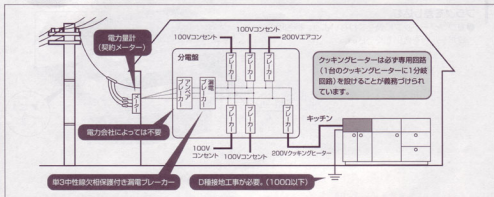
レンジフード操作部

左ヒーター操作部

中央ヒーター操作部

右ヒーター操作部
• 自動湯わかし　• 保温
• 自動炊飯　• 揚げ物調理

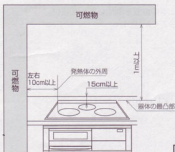
電気工事　必ず電気工事士の免許をお持ちの方が行ってください。

〈専用回路の設置（単相200V）〉

●クッキングヒーター用のコンセントは規格で次のようなものが標準品となっていますので、事前にご確認の上、設置してください。

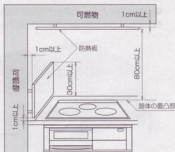
器具の容量	幹線の太さ	コンセントの形状
30A	φ2.6mm	単相200V用（接地極付）250V－30A

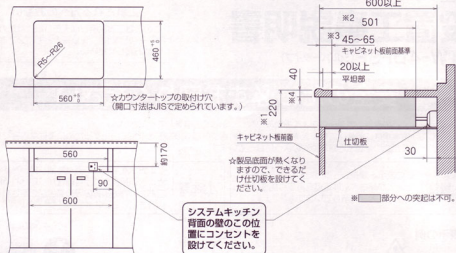
設置場所の確認

●火災予防条例、電気設備技術基準第59条に従って設置してください。
●カウンタートップは熱硬化樹脂化粧板（JIS K 6903）と同等以上の耐熱性があるものを使用してください。
ニス引きのものは変色しますので使わないでください。
●製品の金属部がシステムキッチンの金属部と接触する場合、建造物の壁中の金属（メタルラスなど）とシステムキッチンの金属部を接触しないようにするか、または製品の金属部がシステムキッチンの金属部に接触しないように取り付けてください。
●製品は水平に設置してください。
●製品は火災予防上、可燃物との間を図のように離して取り付けてください。

■このクッキングヒーターは「消防法 設置基準」に基づく試験基準に適合しております。建築物の可燃物から図のように離して設置してください。

[消防法　基準適合　組込形]

製品の前面はできるだけ広く（60cm以上）あけて冷蔵庫、家具等の扉が当たらないようにしてください。

■左記寸法がとれない場合には、不燃材による防熱板を取り付けてください。

防熱板はこれを設けたとき、機器周囲の木壁温度が室温35℃の時100℃を越えない断熱性を有すること。

システムキッチンの加工寸法 (単位：mm)

●※1、※2の寸法は製品寸法ですので、この部分への突起物がないようにしてください。
●※1が270mmの場合には、別売の下ルーバーをご使用ください。
●※3の寸法はカウンタートップの穴位置の基準を示し、この範囲であれば設置できます。
●※4が30mmの場合には、別売の上ルーバーをご使用ください。

キャビネットの背面に背板がある場合は、次の加工を行ってください

●カウンタートップと背板の間（※1）が50mm以下の場合は、後固定金具が通るよう切り欠きを設けてください。

製品寸法図 （単位：mm）

上面図

599±1.5
φ140
φ200
φ200
506.5±1.5
154
193.1
27.3
150
150

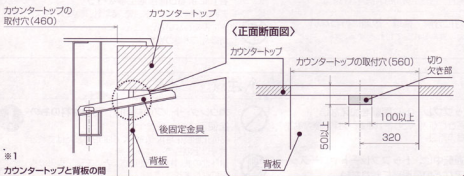
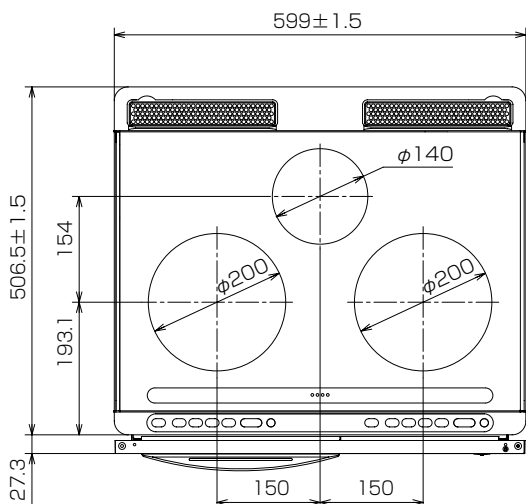
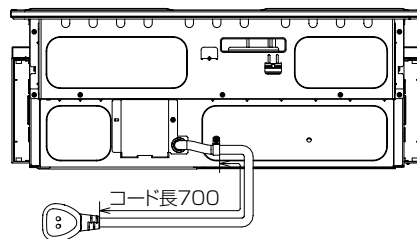
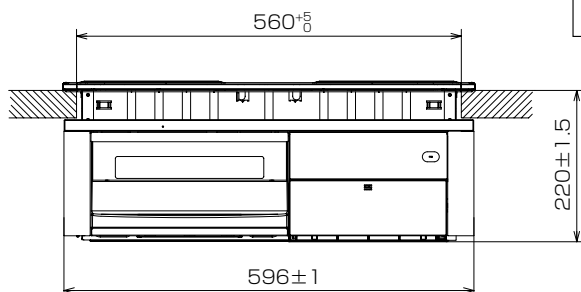
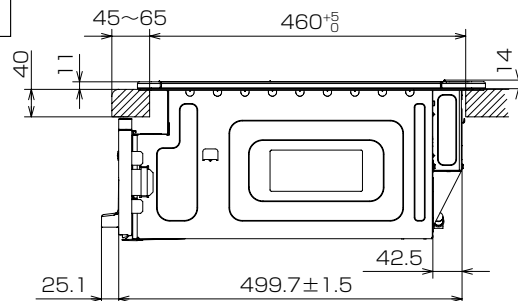
後面図

コード長700

前面図

560 +5 0
220±1.5
596±1

側面図

45〜65
460 +5 0
40
11
14
42.5
25.1
499.7±1.5

設置前の準備

※金属端面が多いため、けがをしないように注意してください。

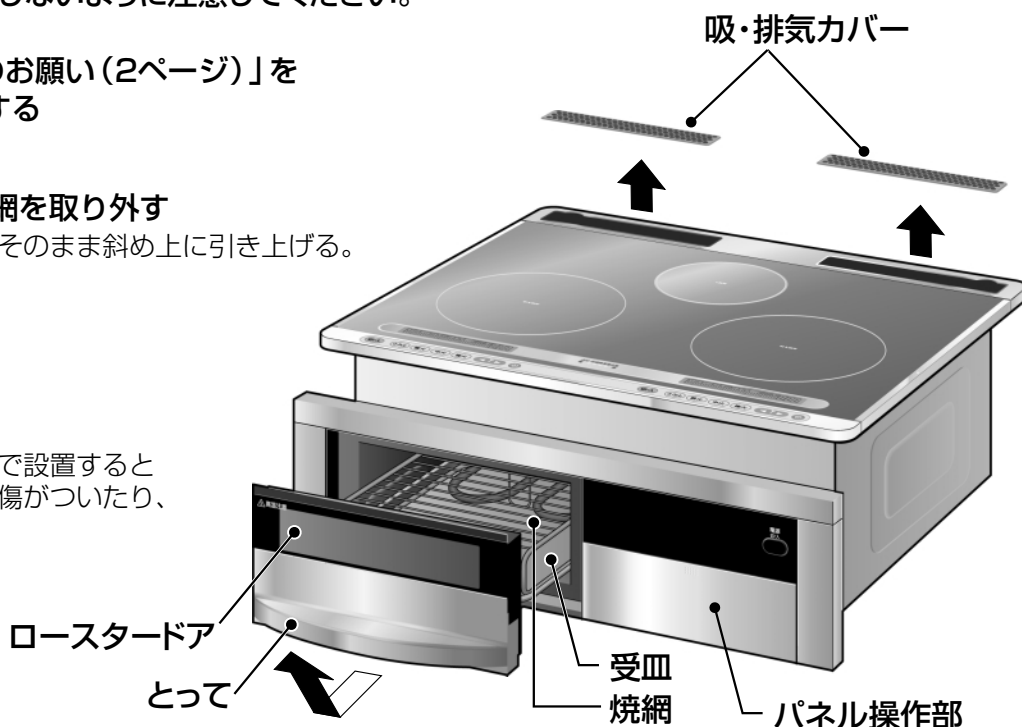
1 「設置工事をされる方へのお願い（2ページ）」を参照し、付属品の確認をする

2 ロースタードア、受皿、焼網を取り外す

●とってを持って引き出し、そのまま斜め上に引き上げる。

3 吸・排気カバーを取り外す

4 パネル操作部を閉じる

※パネル操作部が開いた状態で設置するとカウンタートップに当り、傷がついたり、故障の原因になります。

設置方法　必ずブレーカーをしゃ断して工事を行ってください。

1 プラグを差し込む

●カウンタートップに傷をつけないよう、梱包用の段ボール板を敷いてください。

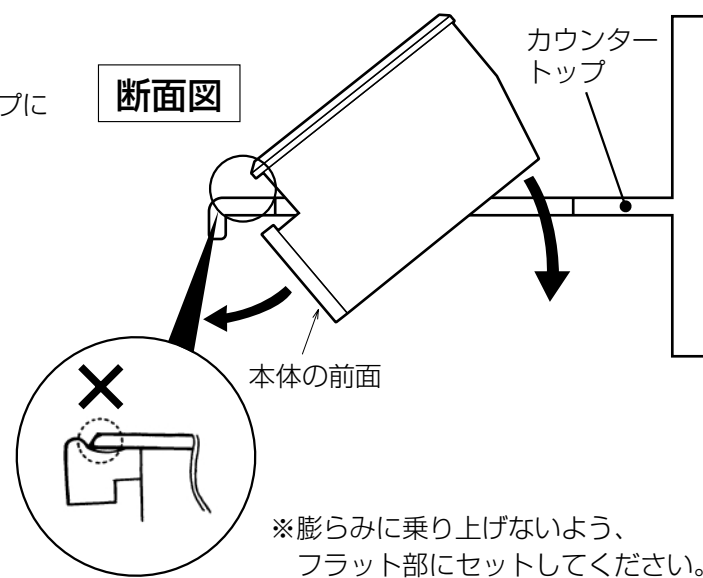
カウンタートップ

段ボール

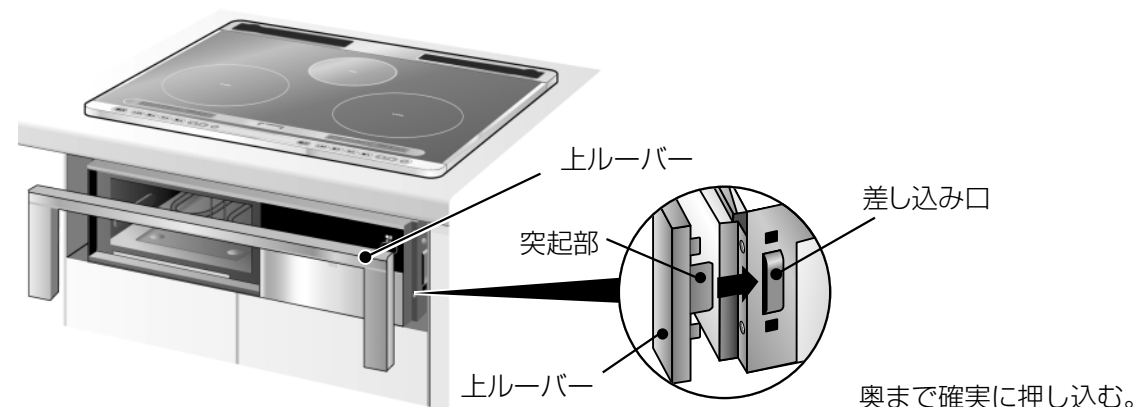
2 カウンタートップに本体の前面を挿入してから全体をはめ込む

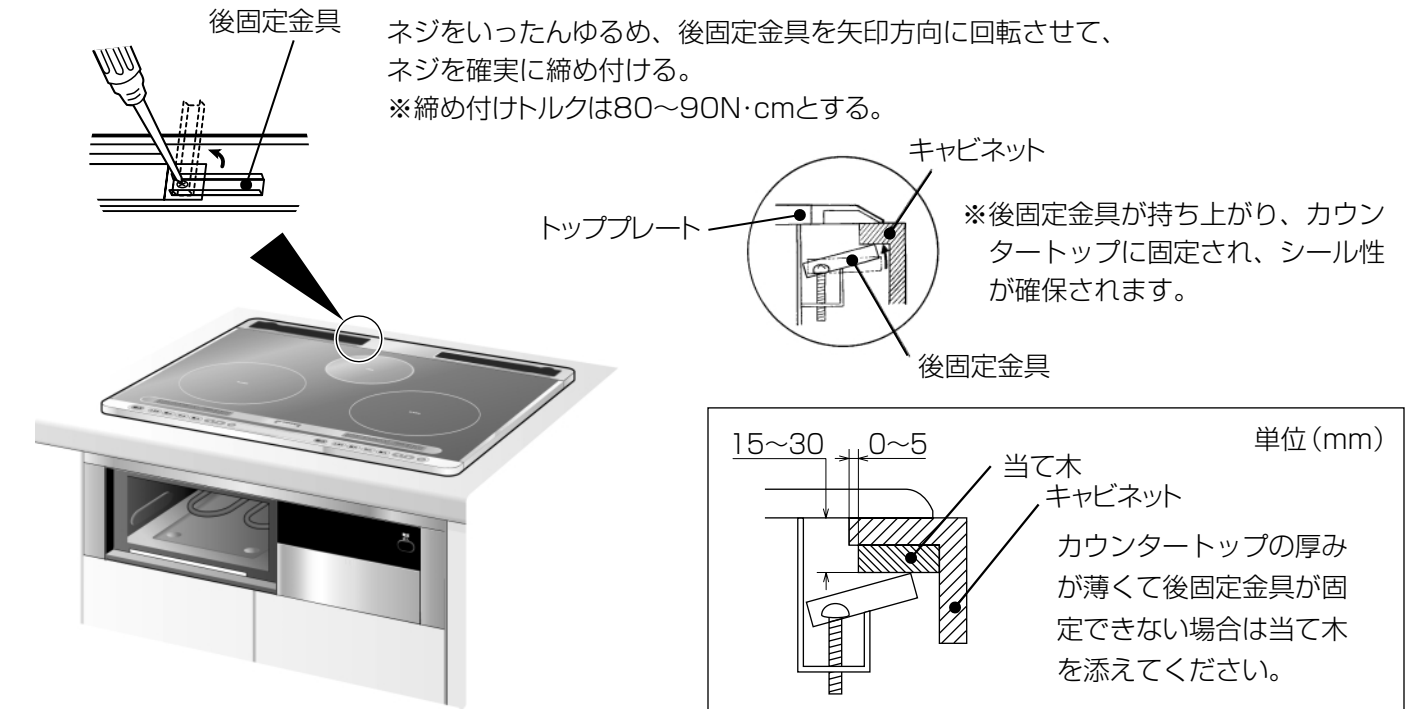
●はめ込み時は、前面のパネル操作部をカウンタートップに当てないように注意してください。（傷がつく原因）
●電源コードを本体底面とキャビネットの間に挟まないようご注意ください。
●カウンタートップと本体のトッププレートのすき間が全周にないことを確認してください。

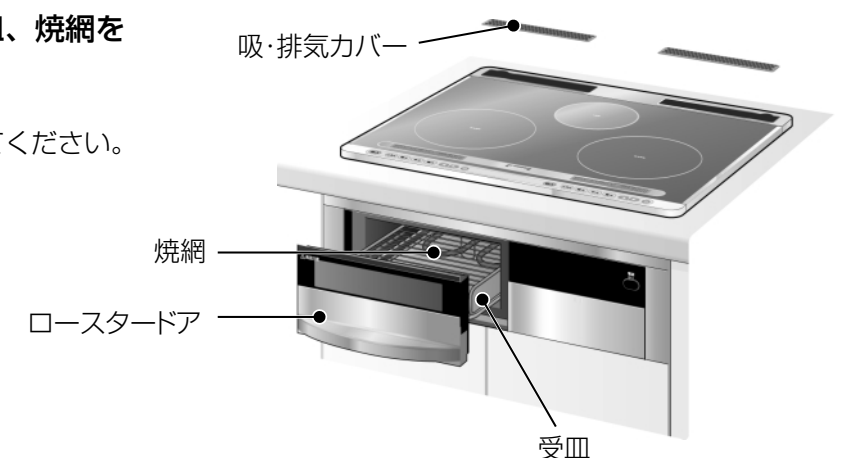
カウンタートップが反っているなどですき間がある場合は別売のボウスイテープ（HTC-4CB　031：メーカー希望小売価格525円（税抜500円、2004年9月現在））を用いすき間を塞いでください。
（水浸入防止のため）

※膨らみに乗り上げないよう、フラット部にセットしてください。

3 上ルーバーを取り付け、本体の位置を調整する

●左右側面の差し込み口に、上ルーバーの突起部を差し込んでください。
●上ルーバーとキャビネットの左右側面とのすき間が均一になるように本体位置を調節してください。
●キャビネットの扉面と本体の前面が合うように、本体の位置を調節してください。

奥まで確実に押し込む。

4 本体を固定する

後固定金具（本体に取り付け済み）の固定

5 吸・排気カバー、ロースタードア、受皿、焼網を取り付ける

●吸・排気カバーを取り付けてください。
●ロースタードア・受皿・焼網を取り付けてください。

工事完了後の確認

●通電をする前にロースター庫内、トッププレートの上に梱包材がないことを必ず確認してください。
●設置工事終了後、次の手順で確認してください。

	確認項目		確認欄
梱包材の取り外し	ロースタードアのテープ止めを外したか確認してください。		
	ロースター庫内、トッププレート上に梱包材がないか確認してください。		
電気工事	アース工事（D種接地工事）をしましたか。		
	漏電ブレーカーの設置をしましたか。		
	プラグを接続しましたか。		
試運転	①クッキングヒーター用の電源電圧が「単相200V」であることを必ず確認してください。 （電圧異常の場合は C61 または C6 を表示します） ●レンジフード連動システム対応のレンジフードと組み合わせて設置の場合は、レンジフード単体で正常に動作することを確認し、停止させてください。また、送信部を鍋などでさえぎらないようにしてください。		
	②電源スイッチをブザーが鳴るまで押してください。	●電源ランプが点灯します。	
	③各ヒーターまたはロースターを「入」にして、動作を確認してください。		
	(1)左・右ヒーター（IHヒーター） 鍋にコップ1杯程度（180mL）の水を入れ、ヒーターの中央に置き、切/入キーを押した後、中火キーを押してください。 ※鍋を置かないと通電しません。	●前面操作部の左・右ヒーターの通電ランプとトッププレートの液晶表示がオレンジとなり、火力「7」と表示します。しばらくすると、お湯が沸とうします。 ●レンジフードが自動的に風量「中」で運転します。※1	
	(2)中央ヒーター（クイックラジエントヒーター） パネル操作部の中央ヒーターの切/入キーを押した後 ▶ キーを押してください。 ※ロースターとの同時使用は出来ません。	●前面操作部の中央ヒーター通電ランプとトッププレートの火力表示ランプが点灯し、約4秒後にヒーターが赤熱します。 ●レンジフードが自動的に風量「中」で運転します。※1	
	(3)ロースター パネル操作部の魚焼きキーを4回押し手動を選び、ロースタースタート/切キーを押してください。 ※中央ヒーターとの同時使用は出来ません。	●前面操作部のロースター通電ランプ、脱臭ランプと焼きかげんランプの「強」が点灯し、しばらくすると庫内が熱くなります。 ●レンジフードが自動的に風量「中」で運転します。※1	
	(4)すべてのヒーターとロースターを停止してください。 左・右ヒーター、中央ヒーターの切/入キーを押します。またロースターのスタート/切キーを押して停止してください。	●火力表示・通電ランプが消灯します。（通電時間によっては高温注意表示をします。） ●レンジフードが約3分後自動停止します。※2	

※1．レンジフードが停止中に、ヒーターを通電開始した場合です。
※1、2．レンジフード連動システム対応のレンジフードを組み合わせた場合です。
◎すべてのヒーターを停止後、約45分経過すると待機時消費電力オフ機能が働き、自動的に電源ランプが消灯し、電源が切れます。

●確認終了後は必ず電源スイッチを押して電源を切ってください。
●試運転で付属の天ぷら鍋を使用した場合は、水気を十分に切り、内側に軽く食用油をぬってください。
（サビ防止のため）

日立ホーム&ライフソリューション株式会社
〒105−8410　東京都港区西新橋 2−15−12　電話 (03)3502−2111

NH215726-01 2004-09(DC·M)3